



ブリヴェー イズ ソチ
Привет из Сочи
～ソチ市からこんにちは～

男性の日と女性の日

日本では、2月14日のバレンタインデーに女性が男性にチョコレートを贈り、3月14日のホワイトデーにお返しをする文化がありますよね。

しかし、ロシアで女性が男性にプレゼントを贈るのは、2月23日の「祖国防衛の日」です。もともとは軍人や戦時中前線で働いた元軍人の方に尊敬と感謝を示す日でした。

近年は軍の関係者に限らず、男性に日ごろの感謝の気持ちを伝える日として定着し、「男性の日」という位置づけになっています。夫や彼氏、父親や祖父、息子はもちろん、会社の同僚や上司にも、プレゼントをあげたり特別な料理を作ってあげたりします。

2月からスーパーにはプレゼントの特設コーナーが作られ、メジャーなものは靴下・シャワー用品・髭剃りです。ロシア人男性は日曜大工をする人が多いので、大工道具も喜ばれます。当日は全国でパレードやコンサートが開かれ、モスクワでは花火も打ち上げられます。

そして、バレンタインデーとホワイトデーの関係のように、「男性の日」をお祝いした後、3月8日には「女性の日」がやってくるのです。

観光コンベンション協会



YUKUTE

「ナガトリップ」のプログラム

企画お待ちしております

昨年はまさに「コロナ色」という年でしたが、その中でも、観光コンベンション協会は感染症対策を施しつつ、期間限定イベント「ナガトリップ」に取り組みました。

今年からは次の段階として、観光客がより気軽にプログラムを体験できるよう、レギュラーメニュー＝「いつでもナガトリップ」の造成にも力を入れていきます。1年を通じてできるもの、または季節限定で楽しめるものなど、たくさんの体験プログラムを「いつでもナガトリップ」として売り出し、長門の観光を盛り上げていきたいと考えています。プログラムは長門市内の方々から随時募集中。詳細や応募は下記のQRコードからよろしくお願いたします。

【応募要件】

- ・市内で開催され、現地集合、現地解散であること
- ・下記の3点を満たしたプログラムであること
- ①自然・伝統文化・食・歴史・まちなみなど長門市らしさを感じられるもの
- ②ターゲットが明確なもの
- ③新型コロナウイルス感染症防止対策がされているもの
- ・プログラムは応募者が主体となって企画・運営し、責任をもって実施すること



観光コンベンション協会 ☎ 27-0074



道の駅センザキッチン

センザキッチンで テイクアウトランチ

センザキッチン内の飲食店では、海鮮丼、焼き鳥、カレー、焼きそば、アジフライバーガーなど各店の自慢のメニューがテイクアウトできます。天気の良い暖かい日は、青空と海を眺めながらの屋外ランチがおすすめです。また、グリルハウスでは、海を眺めながらの炭火のバーベキューがお手軽にお楽しみいただけます。

ご家族やご友人、お仕事仲間とぜひご来店ください。



道の駅センザキッチン ☎ 27-0300



生涯「健幸」で元気に暮らせるまちを目指して

ゲートキーパーをご存じですか？

～3月は自殺対策強化月間～

長門市の自殺死亡率は、17.5%（2019年人口10万対）で、国15.7%、県14.5%と比較して高い状況です。

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。身近な人の様子がいつもと違うとき、周囲の人ができることがあります。

①気づく

日ごろ、その人のことを良く知っている人が、「普段と違う」と気づくことが最初のステップです

②かかわる 気づいたら、声をかけてみてください。本人の話にじっくりと耳を傾けましょう

③つなぐ こころの病気かもしれないときは医療機関などに、悩みの相談内容などにより、専門の相談窓口につなぎましょう

④絆を保つ 他の支援者と一緒にかかわりを続けてください。孤立を防ぐことが大切です

自殺は追い込こまれ、孤立した状態で起こっています。もし悩んでいる人に気づいたら、勇気を出して声をかけてみませんか。

長門市保健センター ☎ 23-1133

うるし
漆のある暮らしを
広めたい

いま
うら
てる
ゆき
今浦照之さん



昨年は長門市長賞、今年は長門文化協会長賞受賞と、長門市美術展入賞の常連となっている今浦さん。本職である仏具の漆塗師の腕を活かした斬新な漆器作品は、見る人を楽しませてくれます。

今浦さんは、家業の仏壇店を継承するため、京都の職人のもとで9年間修業した後、長門市に帰って来ました。しばらくは、家業に専念していましたが、広島や福岡の職人仲間が作品を作っていることに刺激を受け、口に当てたときの感触が柔らかい漆器で晩酌できたらと思いつき、自分でも作品を作り始めました。

漆器は、素地となる木製品に和紙などを貼り、下地を施して表面を整え、塗りと研ぎを繰り返すなど時間をかけ、手を加えていくことで、耐久性やつやを生み出します。

いろいろな技法の習得のため、毎年、東京芸術大学の公開漆芸講座を受講して最先端の技術を学

んだり、写真や絵画などの芸術も創作のヒントにするなど向上心にあふれる今浦さん。漆は、手を入れれば入れるほど応えてくれるところが魅力だと思います。

将来は自分の工房を開き、興味のある人といっしょに作品づくりをしたいと話す今浦さんは、暮らしのなかで漆器が使われ、漆の文化が広まってくれることを願っています。



▲特殊な油で表面を滑らかにする今浦さん

長門市市民憲章
②ふるさとの知恵
そだてあう、豊かなまちをつくります

長門市広報 知っちょこ

No. 249 2021年(令和3年)3月号

発行 長門市役所
〒759-4192 山口県長門市東深川1339-2
TEL0837-22-2111(代)

編集 企画総務部企画政策課広報広聴係
TEL 0837-23-1117 FAX 0837-22-5358

私が「春だなあ」と思うのはズバリ、スギ花粉です。目がかゆくなってくると花粉症の合図。くしゃみが出始めるとうだめです。対策グッズが手放せません。

約1年前、新型コロナウイルス感染症が全国的に問題となったころ、マスクの着用が呼びかけられました。花粉症の人には当たり前だったマスク、今ではほとんどの人の当たり前となりました。春になっても気を抜かず、花粉症と感染症対策に取り組んでいこうと思います。

編集後記

春を感じる時期になってきました。暖かくなってきた気温、花開く梅、鳥の鳴き声など、さまざまなシーンで春を実感します。

